

# 標準施工要領書

Hey浸透フィニッシュ

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546

TEL 048(297)4111 FAX 048(290)1198

## 1. 特 長

- 塗布したままの仕上げで、耐摩耗性・耐汚染性が向上します。
- 天然石の石相を際立たせます。
- 施工後は汚れ等が付きにくくなります。
- 一液なので可使時間もなく、そのまま塗装が可能です。
- 脆弱した無機質系部材表面に浸透強化します。また、吸水を抑制し、かつ空気遮断性を高めて部材を保護します。
- 水性なので有機溶剤の発散がありません。

## 2. 用 途

- 1) 大谷石・十和田石・ライムストーン・ブロック塀などの表層の浸透強化・保護  
吸水抑制・汚れ防止。
- 2) 漆喰の浸透強化・保護・吸水抑制・汚れ防止。。
- 3) 縁石、車止め等、コンクリート二次製品の表層の浸透強化・保護・吸水抑制  
中性化抑制・汚れ防止。
- 4) ヘアークラックからの吸水・白華抑制。

## 3. 工 程

| 工 程   | 材 料               | 施 工 器 具                    | 使 用 量                                                              | 塗回数  | 間隔時間    |
|-------|-------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 仕上げ塗装 | He y 浸透<br>フィニッシュ | ウーローラー<br>刷毛<br>噴霧器<br>その他 | 新設<br>0.2~0.3kg/m <sup>2</sup><br>改修※<br>0.3~1.0 kg/m <sup>2</sup> | 1 以上 | 12 時間以上 |

※部材・劣化の度合いによって塗布量は変わります。

※吸い込みの激しい場合は、状況に応じて2~3回塗布してください。

## 4. 工 法

### 1) 下地

著しく脆弱した部材は、ポリッシャー、ディスクサンダー、皮すきなどで出来るだけ除去し、清掃してください。

水洗いした場合は、部材が十分に乾燥していることを確認してください。

(乾燥していないと浸透しません)

- 2) 塗布  
ウーローラーや刷毛、噴霧器などを用いて原液のまま、浸透しなくなるまで塗布してください。  
吸い込みの多い場合は、状況に応じて1時間以内に数回塗布してください。
- 3) 乾燥  
放置して自然乾燥させます。(23℃・2～3時間を目安)

## 5. 注意事項

- 1) 十分な効力を発揮するため、部材は乾燥させてください。(含水率10%以下)
- 2) 用途以外には使用しないでください。また他の材料と混ぜて使用しないでください。
- 3) 使用の際には、ビニール製の保護手袋、保護眼鏡を着用してください。
- 4) 一度容器からとり出した材料は、汚染防止のため絶対に元の容器に戻さないでください。
- 5) 液が直接皮膚に付着した場合、肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いをしてください。
- 6) 眼に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗眼し、異常のある場合には医師に相談してください。
- 7) 誤って飲み込んだ場合は、口をすすぎ、無理には吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。
- 8) 吸入して気分の悪くなった場合は、速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または、温水でうがいをしてください。状況に応じて医師の診断を受けてください。
- 9) 誤飲を起こす恐れのある容器での保管は避けてください。
- 10) 材料の保管は、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 11) 保管温度は5℃以上40℃以下としてください。
- 12) 漏出した液体は、布などで吸い取るか、セメント、おが屑、土砂などを混ぜ、モルタル状として凝固回収してください。
- 13) 側溝、河川、湖沼等へは絶対に廃棄しないで、産業廃棄物として適切な処理をしてください。
- 14) 材料の取扱いについては、製品に記載された注意事項をよく読んでからご使用ください。その他詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 15) 塗布量のムラや天候の影響のため、艶や色のムラが出る可能性があります。  
また常時浸水する場所には適しません。
- 16) 乾燥前に酸性の液体と接すると白化する可能性があります。
- 17) H e y 浸透フィニッシュを塗布し、塗布間隔が過ぎた後、若しくは部材においてH e y 浸透フィニッシュが飽和状態で再度塗布した場合、浸透せずフィルム状で膜になる場合があります。
- 18) 気温 5℃以上での施工を心掛けて下さい。

## 6. 荷姿

| 内容量     | 形態     | 施工面積 (㎡)  |           |
|---------|--------|-----------|-----------|
|         |        | 新設        | 改修        |
| 4 k g   | ポリ容器   | 1 3 ~ 2 0 | 4 ~ 1 3   |
| 1 4 k g | ポリペール缶 | 4 6 ~ 7 0 | 1 4 ~ 4 6 |

※部材の劣化の度合いによって塗布量は変化します。  
吸込みの激しい場合は状況に応じて数回塗布してください。